

当文教厚生委員会に付託された案件については、7月6日の午後1時30分から、委員会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

始めに、議案第40号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

生活困窮者自立支援金支給事業について、市民の生活を守るため少しでも早く支給すべきと考えるがどうか。とに対し、

支払手続き上、必要な日数は要しますが、可能な限り早く支給できるよう事務作業を行っていきます。とのこと。

子育て世帯への特別給付金給付事業について、本補正予算を議決後、どのようなスケジュールで事務を進め、いつから給付を開始するのか。とに対し、

本補正予算議決後、直ちにシステム改修を行い、7月下旬に支給が開始できると見込んでいます。とのこと。

市立保育園管理運営事業及び児童発達支援センターつくし学園管理運営事業のうち、寄附金を財源とした保育事業用備品の購入について、この度、購入する保育事業用備品の内容はどのように決定するのか。とに対し、

「保育園等の遊具等の備品充実」という寄附者の意向に沿えるよう、各保育園で必要なものを聞き取ったうえで購入するものを決定します。とのこと。

新型コロナウイルスワクチン接種事業のうち、超過勤務手当について、特定の職員による長時間残業が危惧されるが、どのように改善していくのか。とに対し、

これまでも、ワクチン接種業務に携わる職員の増員を図ってきたことと、併せて、本補正予算に計上している窓口業務の派遣職員も増員することで改善するものと考えています。とのこと。

ワクチン接種窓口業務従事者の派遣について、今回派遣業務を行う業者はどのように決定するのか。とに対し、

現在、派遣業務を請け負っている業者と変更契約を行い、人員増加を図りたいとするものです。とのこと。

学校教育指導等事業のうち、スクールサポートスタッフ委託料について、学校内の消毒作業を引き続き委託するとのことだが、抗菌処理ではなく消毒作業を委託することとした理由はなにか。とに対し

抗菌処理に係る費用は延べ床面積で決定されます。幼稚園・保育園が、保育室の床や遊具など全てを抗菌処理すべきであるのに対し、小中学校はトイレや手すりなどの共用部分のみを消毒すればよいため、費用対効果が低いと判断したことによります。とのこと。

小学校情報機器整備事業及び中学校情報機器整備事業について、貸し出し用モバイルルータの購入台数200台とした根拠はなにか。また、モバイルルータ1台あたりの費用はどのようなか。とに対し、

購入台数の根拠は、市内の要保護・準要保護世帯数と近隣市の配備状況を参考に決定しました。

モバイルルータ1台あたりの費用は、機器購入費用が15,000円、通信料が月額2,300円の他に、初期登録料として2,800円を見込みました。とのこと。

学校保健体育事業のうち、抗菌等処理業務委託料について、抗菌処理を実施した場合、どの程度効果が持続するのか。また、抗菌処理の持続期間をどのように確認するのか。とに対し、

この度、見積書を作成した業者からは、1年以上抗菌処理の効果が継続すると聞いています。

持続期間の確認については、1年後に実施業者に確認してもらうことを考えています。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第43号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

当該ちびっこ広場がなくなることについて、地域住民の理解は得られてい

るのか。とに対し、

返還の話が持ち上がった段階で、区長に情報提供を行い、地域の理解は得ています。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第47号、議案第48号、議案第49号及び議案第50号の4議案については、一括議題とし、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

乙川中学校の改築工事を4つの契約に分けた理由はなにか。とに対し、

市内業者への受注機会の拡大を推進する他、経験値の向上などを目的に契約を分け実施しました。とのこと。

工事を分割して発注することで、工事の進捗に支障をきたすことが危惧される。どのように管理していくのか。とに対し、

今回上程した契約と並行して、工事監理業務を委託することで対応していきたいと考えています。とのことでした。

その後、討論を省略し、議案ごとに採決した結果、4議案とも、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。